

# 第17回 ASTAGE CAMP 2016 春

タンノ アイ



## 【概要】

日時：2016年5月28日（土）～5月29日（日）

場所：横浜市野島青少年研修センター

(Website: <http://yokohama-youth.jp/kenshu/> Tel: 045-782-9169)

参加人数：68名

参加費：2,000円

## 【テーマ】

“ASTAGE, the STAGE of A beginning friendship”

～広く深く友達を作るきっかけとなるアステージ～

新年度が始まって2ヶ月近くが経ったこの時期にある宿泊イベントとして、このキャンプの原点に立ち返り、参加してくださる留学生や日本人が交流を始め、さらにそれが深まるきっかけになって欲しいという思いを込めて、このテーマを設定した。テーマを決めるにあたっては、このキャンプの名前である「アステージ」の由来（A STAGE）にちなみ、それをひねった形にした。

### 【当日までのスケジュール】

- 12月下旬 総括・副総括決定
- 2月中旬 日程、テーマ、場所決定
- 3月中旬 当日までのスケジュール概略決定（スタッフ班、広報、参加者受付期間など）
- 4月中旬 当日スケジュール、スタッフ班割り、班長決定  
広報開始  
横浜市野島青少年研修センター利用者事前打ち合わせ参加、下見
- 4月下旬 予算、参加費、仮スタッフ班割り決定、各班準備本格化  
参加者受付開始
- 5月中旬 参加者受付締め切り、当日参加人数確定  
しおり作成
- 5月下旬 最終調整
- 6月上旬 反省会

### 【当日スケジュール】

#### <1日目>

- 12:00 スタッフ集合
- 12:10 参加者集合
- 13:30 横浜市野島青少年研修センター着
- 14:00 入所式
- 14:15 アイス・ブレーキング
- 15:00 レクリエーション
- 17:45 夕食
- 18:30 夕食片付け
- 19:15 キャンプファイア
- 20:15 入浴
- 21:30 スタッフミーティング
- 22:00 懇親会

#### <2日目>

- 7:00 スタッフ起床
- 7:30 参加者起床
- 8:00 朝食
- 8:45 退所準備、施設掃除
- 9:15 退所式
- 9:30 レクリエーション
- 11:30 アンケート記入
- 11:50 解散

【参加者名簿】

参加者 34名			
女性留学生 10名		女性日本人学生 5名	
国籍	所属等	国籍	所属
スリランカ	都市イノベーション学府	日本	経済学部
インド	YCCS	日本	経済学部
ロシア	研究生	日本	理工学部
ロシア	研究生	日本	教育人間科学部
ベトナム	経済学部	日本	教育人間科学部
韓国	世宗プログラム	男性日本人学生 7名	
韓国	世宗プログラム	国籍	所属
韓国	世宗プログラム	日本	理工学部
韓国	世宗プログラム	日本	経営学部
韓国	世宗プログラム	日本	教育人間科学部
男性留学生 12名		日本	経済学部
国籍	所属等	日本	経済学部
韓国	理工学部	日本	国際社会科学府
中国	経済学部	日本	経済学部
中国	経済学部		
中国	工学府		
アメリカ	JOY Program		
イタリア	JOY Program		
コートジボアール	研究生		
トルコ	研究生		
ブラジル	研究生		
コロンビア	研究生		
パラグアイ	研究生		
フィンランド	JOY Program		



スタッフ 33名		
女性 21名		
氏名 (カナ)	国籍	所属
シミズ ナツキ	日本	経済学部
イマイ リホ	日本	教育人間科学部
キム ミソ	韓国	教育人間科学部
イトウ マリア	日本	経営学部
マツダ レイコ	日本	経済学部
タンノ アイ	日本	経営学部
タカハシ ユカ	日本	経営学部
アイカワ サナミ	日本	経営学部
ナガトモ アヤカ	日本	経営学部
レ ゴック バオ ヴィー	ベトナム	経営学部
オオハシ シオリ	日本	YCCS
ヨシイ マリン ハッピー	アメリカ	YCCS
ホリ ハルカ	日本	経営学部
マツウラ ハナ	日本	教育人間科学部
ミズノ スミレ	日本	理工学部
リ ハクカン	中国	経営学部
オノデラ リホ	日本	教育人間科学部
マツバ モエ	日本	経営学部
ユキ カヨ	日本	経済学部
パク ジヨン	韓国	経営学部
ホンジョウ ミサ	日本	教育人間科学部
男性 12名		
グエン ニュウ ナム アイン (キラ)	ベトナム	YCCS
アキモト リョウタ	日本	経営学部
フカサワ コウタロウ	日本	経営学部
イトウ タイチ	日本	経営学部
グエン ワン フイ	ベトナム	理工学部
イリヤマ ダイガク	日本	理工学部
キクチ マサカズ	日本	理工学部
キム ジュンホ	日本	理工学部
ナカジマ カゼ	日本	理工学部
フクヤマ タカヒロ	日本	経済学部
スズキ ユウタ	日本	理工学部
チン エキショウ	中国	理工学部

### 【スタッフ役職】

総括：グエン ニュウ ナム アイン (キラ)

副総括：タンノ アイ

1日目レクリエーション班長：グエン ワン ファイ

食事班長：フカサワ コウタロウ

キャンプファイア・懇親会班長：アイカワ サナミ

2日目レクリエーション班長：イトウ タイチ

引率教員：藤井桂子（国際戦略推進機構）

### 【全体を通じて良かった点】

- ・ 計画的に準備を前倒して行ったため、臨機応変な対応が余裕を持ってできた。
- ・ スタッフの仕事分担が効率的に行われていた。また、そのために Line や 105 全体ミーティングを活用した。
- ・ 仮スタッフは仕事中心ではなく交流をメインにし、これからの活動に活かせるように配慮した。また、そのために学年ごとの役割を意識し、当日および準備期間の動きに反映させた。
- ・ 事前にコミュニケーションをとっておいたため、同施設利用の他団体ともトラブルなく円満に過ごせた。
- ・ 書類の締め切りを常に早めに設定しておいたため、遅滞がなかった。
- ・ 個室風呂を確保していたため、入浴の配慮が必要な方も利用できた。
- ・ 当日は参加者だけでなくスタッフも含め全員が楽しめた。

### 【反省点】

- ・ 諸連絡において重要点は Line の Note 欄に記入するようにしていたが、その認知度が低く、上手く活用できていなかった。
- ・ 各班の Line グループとは別に班長のための Line グループを作成したが、総括や副総括からの連絡伝達のみに使われ、各班の情報共有までには至らなかった。
- ・ 名簿作成の際、ひらがな・カタカナ・漢字表記いずれもあり、混乱を招いた。
- ・ 入浴の混雑具合がわかりにくく、スタッフ 1 人が常に風呂場で待機して混雑状況を伝えなければならなかった。
- ・ 途中参加の方のための引率について考えていなかった。
- ・ 施設の入りが 22:00 以降禁止されていることを認識していなかったため、施設の方にお手数をお掛けしてしまった。

# 1 日目レクリエーション

グエン ワン ファイ

## 【概要】

この班では、1 日目のアイスブレイキングとレクリエーションを担当する。アイスブレイキングで自己紹介を、レクリエーションで二つのゲーム（運動系一つと頭脳系一つ）を実施した。食事班は参加しなかった。

## 【ゲームの内容と反省点、改善点、良かった点】

### アイスブレイキング

アイスブレイキングとは、メインのレクリエーションに入る前に参加者がウォーミングアップし、参加者同士が仲良くなるきっかけをつくるものである。今回のアイスブレイキングは前後半に分け、前半は音楽に合わせて風船を回しながらの自己紹介で、後半はその風船を利用したゲームだった。具体的には、参加者に各自風船を作ってもらい、全員分を一緒にしてから自分のチームの風船をできるだけ早く探すというゲームだった。

良かった点は、想像以上にこのアイスブレイキングが盛り上がったことと、それによりアイスブレイキングの主な目的を十二分に達成できたことである。一方、反省点としては、スピーカールの準備がうまくできなくて、ルール説明の時に混乱してしまったことがあげられる。また、アイスブレイキングが予定より早く進行してしまい、各ゲームを少し引き延ばしたため、後半の雰囲気ちょっと冷めてしまった。改善点は、道具の事前チェックと時間管理をもっと徹底することである。

### レクリエーション

レクリエーションでは、ゾンビ鬼と貿易ゲームという二つのゲームを行った。

#### <ゾンビ鬼>

参加者全員を六チーム A, B, C, D, E, F に分け（アイスブレイキングと同じ）、A, B, C 連合チームと D, E, F 連合チームとで一回戦と二回戦を戦った。まず始めに、各チーム全員が生存者で、スタッフ二人がゾンビとして床に這いランダムにゾンビウィルスを感染させる。一回戦はノーマルで、二回戦には条件を付けもっと難しい戦いにした。

良かった点：

- ・ 参加者が体を動かすことができたこと。
- ・ ゲーム中に盛り上がったこと。
- ・ “楽しかった” というフィードバックを頂いたこと。

反省点：

- ・ (重要) ゲーム内容の共有不足で、担当者が来られない場合にゲームの説明や運営に困った。
- ・ ゲーム中の混乱で参加者が何人か軽い怪我をした。今回はそれほど大きな怪我ではなかったが、次回から考慮すること。

改善点：

- ・ ゲーム内容を事前に共有すること。
- ・ 参加者の安全に配慮すること。

<貿易ゲーム>

参加者を新たに9チーム（9ヶ国）に分ける。各国の最初の境遇が異なる中、ゲームに規定された製品を作りながら、災害、援助、技術革新などがある中で、チームごとによく検討して自分の国を豊かにしていくゲームである。出来上がった製品は世界バンクで購入され、最終的に多く富を得た上位三チームに景品を出した。

良かった点：

- ・ 参加者に非常に好評だった。
- ・ 1レクメンバー全員のチームワークが良かった。(特に仮スタッフ)
- ・ ゲーム中のできごとに上手く対応できた。(紙幣がなくなった、お札で製品代を払った、値段を状況に応じて変えた・・・)

反省点：

- ・ 役割の分担が遅かった。
- ・ ルールが複雑だったという意見もある。
- ・ 貿易ゲームの製品の基準があいまいだった。
- ・ 製品の見本を一種類二つ作ったが、完全に一致しなかった。

改善点：

- ・ 情報共有を徹底すべき。
- ・ もっと早くゲーム内容を固めて事前チェックをしっかりとすること。

【全体的な反省点、改善点、良かった点、その他】

今回の1レクは、メンバー全員で協力して大きなミスもなく、全体として良い評価を得られた。2年生、3年生のスタッフはもちろん、1年生の仮スタッフもよく頑張って1レクを無事に終わらせた。また、参加者が飽きないように運動系と頭脳系を上手く組み合わせることができた。

一方、課題もある。今回、ゲームごとに担当を振って情報共有を軽視したため、他班のゲームを把握せず、万が一の時に対応しにくくなったり、部外スタッフが手伝う時にミスしやすくなったりした。さらに、当日の仕事を結構残していたので、もっと早く出発すべきだった。キャンプの終了後、借りた備品をちゃんと返すべきだった。





# 食事班

フカサワ コウタロウ

## 【概要】

アステージー泊二日の内、初日の夜ご飯と二日目の朝ごはんの準備、調理、片付けが目的の班。食事の材料は、施設に注文したり自分たちで買い出しをしたりして調達する。

## 【当日の流れ】（スタッフ用メモより）

時間	全体	ふつうカレー(ゆか、まさ)	ハラルカレー(なつき)	サラダ(あやか)	米(まいりー)	スープ(もえ)
11:40		先発隊として野島へ行く(ゆか、まさ、なつき、まさ) 金沢八景のイオンで残りの食材を購入				
12:00		イオンで注文食材を受け取る(ゆか、もえ、あやか)【食材の写真撮る!】				
12:25	第一班出発					
12:45	最終班出発					
13:00		全員キッチンへ行き、①飲み物を冷やす(ゆか、まさ、みそ)、②調理器具の確認(数や汚れなど)(なつき、まさ)				
13:30	野島センターに全員到着	野菜を切る(朝食の分は別に置いておく)			米の計量	
14:00	入所式	↓			↓	
14:15	アイスブレイキング	↓			↓	
14:30		↓			↓	
15:00	レク	炒める	炒める	使った包丁、まな板を洗う	ごはん炊く(まいりー)	お湯を沸かし、スープの素をそえる
15:30		↓	↓	カレーの分の残りの野菜を切る	(火が通っているかを確認)	
16:00		煮る	煮る		炊け次第、ふたを閉めて保温	
16:30		↓	↓			
17:00	食堂移動	↓	↓	盛り付け/ドレッシング配置		ごはん盛り付け
17:45	夕食	カレー盛り付け			炊飯器洗い	カレー盛り付け
18:00		鍋を食堂に持ってく/配膳			炊飯器片付け	
18:30	片付け					
19:00	移動					
19:15	キャンプファイヤー					
19:30		鍋等片付け				
20:00		↓				
20:15	入浴	↓				
21:00						
21:30	スタッフmtg					
21:45	懇親会準備					
22:00	懇親会					
2日目						
7:00	スタッフ起床					
7:30	全員起床	お湯沸かす(あやか)、朝食配膳準備				
8:00	朝食	朝食(参加者)				
8:45	退所準備	食堂片付け				
9:15	退所式、移動					
9:30	レク					
11:00	解散					

## 【当日までの準備】

- ① 夜朝だけではなく、次の日の昼までご飯をつくるのかの検討
- ② しおりの作成
- ③ 総括が視察に行くときに撮って来てほしい写真や知りたい情報のとりまとめ  
Ex: 室内キッチン全体、コンロや流しが何個あるか、まな板・包丁・鍋・フライパンの数
- ④ 食事を外で作るのか中で作るのかの検討
- ⑤ 参加者とスタッフが一緒に作るのか作らないのかの検討
- ⑥ 冷蔵庫の中に夜食事を入れてもいいのかの確認
- ⑦ 大学の予算で賄うものと参加費で賄うものがあることを認識し、買い物の計画を立てる。

※105イベントの Welcome Party(4月15日)が終わったあたりから活動を開始した。  
キャンプ当日から計算していただいたい一か月前くらいから計画を練り始めないと、注文や買い出しなどやる人が多いので最後に予定が詰まってしまう。今回は一か月分のスケジュール表を作り、班員全員で共有できるようにした。週に一度のミーティングは必ず開いた方がよい。総括、会計とのコミュニケーションをたくさんしておいた方がよい。

・4月18日～

メニューの決定（ハラル、ベジタリアン用を考える。野島研修センターの場合は野島カレーがおすすめ。原材料を向こうで調達できるため。）、班内当日参加者の確定、今後のスケジュール確認。

・4月25日～

料理工程ごとの担当者、調理工程の作成を割り振る。調理工程は全体スケジュールと照らし合わせ、キッチン入室時刻が何時になるか確認。

・5月2日～

それぞれの工程（野菜切る、カレー煮込み、等）に必要な人数、器具の数を確認。食材とその個数を決定。施設（野島研修センターの武牛乳店）で頼めるものと量販店で買うものの値段が違うので、予算と相談。（備考：ゴールデンウィーク中だったので家でスカイプミーティング）

必要な備品（紙皿、箸など）の数確認。

・5月9日～

完成した調理工程の確認。買い出しの準備。購入先決定（配達可否、販売価格によって店を変える。）保存がきく食材や備品を買いに行く。

・5月16日～

当日持っていくもの、食材の確認。準備から片付けまで綿密に計画、注意事項を洗い出しておく。参加者が決まり次第、テーブル割りと調理工程詳細のエクセル化。

・5月23日～

当日一目でスケジュールが分かるように模造紙に工程などを記入。

・キャンプ直前の105全体ミーティング

ベジタリアン、ハラルの方がいる場合、そのテーブルにいるスタッフに知らせておく。仮スタッフに配膳を頼む場合は、あらかじめ詳細を伝えておく。

### 【良かった点】

- ・ 1ヶ月前から計画を練り始められたので、ある程度の余裕があった。
- ・ スカイプミーティングで普段は参加できない人も参加できた。
- ・ 去年のしおりやデータを活用して作業を少なくできた。
- ・ 班長&副班長が率先して計画的に準備を進めたので、スムーズに事が運んだ。
- ・ 模造紙にその場その場で反省を書くスタイルがよかった。
- ・ みんな美味しそうに食べていた。
- ・ 美味しかったのか次の日もカレーが人気だった。

### 【反省、改善点】

- ・ 予算をもらった班長が予算をちゃんと理解していなかった。
- ・ 結果としてレクなどの活動にはあまり参加できなかった。
- ・ 次回からは三年生がいなくなるので効率が下がる。一年生には次回なるべく参加してもらって流れの伝達をしなければならない。
- ・ 大学へ請求できるもの、出来ないものをちゃんと見ていなかった。
- ・ 片付けの際に3人抜けてしまい人手が足りなくなった。
- ・ 「いただきます」の前に若干ゴタゴタした。
- ・ 肉を入れることを忘れていた。
- ・ ゆで卵の調理行程を予め確認しておくべきだった。
- ・ 班分け表に名前のない人がいた。
- ・ 参加者名簿はカタカナ又はアルファベットのどちらかに統一したものを作るべきだ。その方が名前の抜けなどが少なくなる。
- ・ 食材費が想像以上に高くなった(去年と買い出しの店が異なったため)。



【写真資料】

エ14 T/Lー ハウル サラダ ミスープ サンドイッチ

写真をとる。and 飲料物を冷やす。  
使い食器をとりだし、汚なければ洗う!

13:00 入試  
13:30 野菜を切る。(朝食の分は分けておく) 木の計量 卵をゆでる 卵が冷むまで

14:30 火炒める 火炒める 使った包、炊飯 お湯  
15:00 ↓ ↓ 松板 use! (ホー) 湯切り  
レ7 ↓ ↓ カレーの残り スープ  
↓ ↓ の野菜を切る 残りの  
保存

(7:00 食堂移動) カレー盛り付け 盛り付け / ごはん盛り付け  
ドレッシング配置 炊飯器 炊飯器  
鍋を食堂に持てく 片付け カレー盛り付け

17:45 夕食 片付け 片付け 片付け  
鍋片付け 片付け 片付け  
18:00 鍋片付け  
18:30 片付け 片付け  
19:00 片付け 片付け  
19:15 (片付け) 片付け  
20:00 片付け  
20:15 (片付け) 片付け  
21:00 片付け  
21:45 片付け  
22:00 片付け

朝食配膳準備 大湯を沸かす サンドイッチ配膳準備

反論点  
○ 調理器具の洗浄方法 ○ 調理器具の消毒方法 ○ 調理器具の保管方法  
○ 調理器具の点検方法 ○ 調理器具の修理方法 ○ 調理器具の廃棄方法  
○ 調理器具の購入方法 ○ 調理器具の売却方法 ○ 調理器具の賃貸方法  
○ 調理器具のリース方法 ○ 調理器具のレンタル方法 ○ 調理器具の借用方法  
○ 調理器具の借用方法 ○ 調理器具の借用方法 ○ 調理器具の借用方法



# キャンプファイア・懇親会

アイカワ サナミ



## キャンプファイア

### 【概要】

ダンス

- ・「マイムマイム」
- ・「ジョイフル」 いきものがかり
- ・「妖怪体操第一」

火を囲んでマシュマロを焼いて食べる

### 【新しい取り組み】

- ・マシュマロを焼くことにした。
- ・ランダムに流行りの音楽を流した。

### 【良かった点】

- ・ 昨年的一般参加者の要望で妖怪体操を踊ったり、マシュマロをあげたり、臨機応変な対応ができた。
- ・ 仮スタッフが中心となってダンスのデモンストレーションを行い、キャンプファイア班に大きく貢献してくれた。
- ・ マシュマロを焼いたことが好評だった。

### 【反省・改善すべき点】

- ・ キャンプファイアの準備について、どこまで準備してくれるか等の施設との情報共有が不足していた。
- ・ キャンプファイアの時間がもう少し長い方がよかったという感想があった。
- ・ 火の準備をできるスタッフが1人しかいなかった。
- ・ 雨の場合にやることをあまり考えていなかった。



## 懇親会

### 【概要】

- ・お菓子、飲み物、テーブルの準備
- ・懇親会後の片付け

### 【良かった点】

- ・誕生日に近い人を祝うことで盛り上がった。
- ・騒ぎすぎずかつ楽しく会話を楽しむことができた。
- ・飲み物の量が丁度良かった。(約4700円分)

### 【反省・改善すべき点】

- ・紙コップ、ゴミ袋を買い忘れ、食事班から譲ってもらった。
- ・お菓子の量が少し足りず、キャンプファイアで余ったお金で買い出しに行った。



## 2日目レクリエーション

イトウ タイチ

### 【スケジュール】

日付	週	残り	実施したこと	備考
4/11(月)	1週目	48日	LINEグループ作成、班長決定	
4/15(金)		44日	105全体ミーティング	
4/17(日)		42日	詳細な時間、場所決定	
4/22(金)	2週目	37日	予算確定、施設からの貸出リスト提示	
4/24(日)		35日	貸出申請締切、参加人数確定	
4/26(火)	3週目	33日	仮スタッフ加入、LINEにて案ブレスト	LINE内にて話し合い
5/06(金)	4週目	23日	班内で簡単なルール説明、案投票開始	GWのため進行遅く
5/12(木)	5週目	17日	ミーティング、案確定	前倒し可
5/13(金)		16日	105全体ミーティング	
5/16(月)	6週目	13日	参加者名簿提示	しおりは前倒し可
5/17(火)		12日	しおり用ルール説明班内で提出	
5/18(水)		11日	しおり締切	
5/20(金)		9日	105全体ミーティング	
5/26(木)	7週目	3日	国際教育センター外で簡単なリハーサル	買い出しは前倒し可
5/27(金)		2日	ルール等詳細確認、景品買い出し	
5/28(土)		1日	1日目、夜全体ミーティング後に班内ミーティング	
5/29(日)		0日	2日目、朝食後、掃除終了次第外にて準備	

- 1～2週目、改善できる箇所ほぼなし。
- 3週目、仮スタッフ加入で班員がそろったあと、時間をおかずにブレストできた。
- 4～5週目、出てきた案について、ルールを知らない班員に配慮すべきだった。  
GWであったが、早めにミーティングを締めLINE中心に切り替えていたら、もっと早期に投票・確定できた。  
そのうえでしおりの内容を想定し、書ける所から作成していれば、
  - しおり作成に余裕ができた。
  - 班内のルール周知、トラブル予想がスムーズだった。
- 6～7週目、景品として買うものの候補が多く出ていれば
  - もっと早く買い出しを済ませられた。
  - 空いた時間でルール等最終確認を充実させられた。



## 【改善点】

準備をするなかで、

何を  
実施するか

ルールの  
注意は何か

景品は  
何が妥当か

の3点についてつまずき、進行が滞った。

しおり作成などで少し手間取ったのも、この3点のつまずきが根底にある。これらに共通して、今までのノウハウを活かしきれていないことが原因だと考える。105が手掛けた全イベントについて、全体の流れや雰囲気だけを後世に伝えるのではなく、どのようなレクを行ったか、評判はどうだったか、ルールなどでどのような問題が起きたか、といったノウハウをしっかりと記録する必要がある。

例えば、今回、ドッジボールにおいて3チームでリーグ戦を行う場面があった。結果、3チームが1勝ずつしたため順位が決まらないという事態に陥った。ここではじゃんけんをすることで勝敗を決めることにしたが、これには不満なチームもあった。

今後は、サドンデスをする、得失点差で決めるなど、あらかじめルールを決めておく必要がある。ただ追加の試合をすればよいのではなく、時間制限のなかで実行可能な対応策を考えておく必要がある。

+α 暑さ対策で、水分補給や休めるレクの検討も必要。

## 【良かった点】

懇親会で遅くまで起きていた参加者が多く、全体的に疲労感が漂っていた中でもとても盛り上がった。参加者、班内外のスタッフの尽力のおかげです。

ドッジボールのコートは、作成が難しいと考えられていたが、仮スタッフのアイデアを活かしてスズランテープで作ることができた。この方法は他でも活かせると考えている。その他、ビニールシートで作った休憩所や説明用のボードなど、新しい試みが多かったと認識している。

スタッフがコントロールするレクの後に、それぞれが自由にボールを使って遊んだ。使ってもらえるかと考え、3種類のボールを持ち込んだが、どれも人気があった。スタッフ主導の遊びでは限界があると考えていたので、ボールがうまく機能してよかった。



# ASTAGE CAMP 2016 春 参加者アンケート集計結果

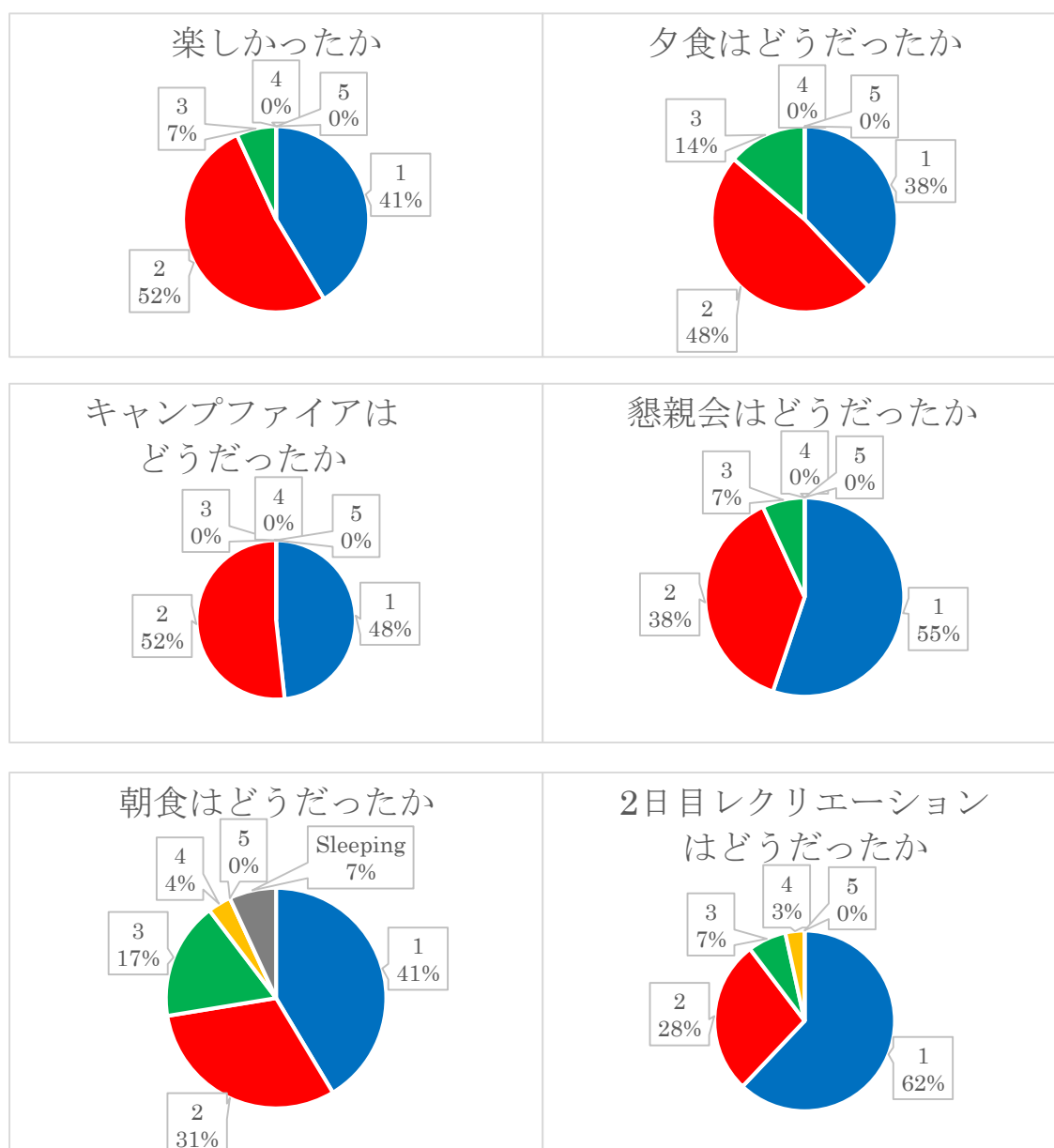
タンノ アイ

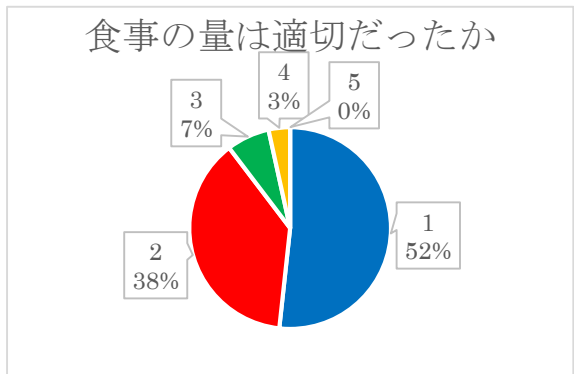
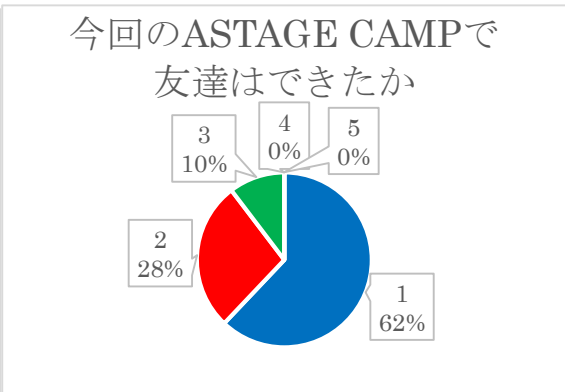
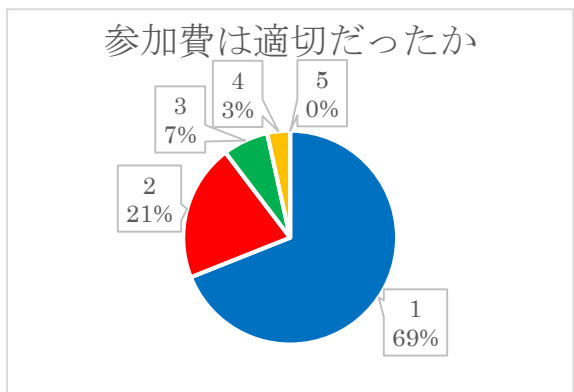
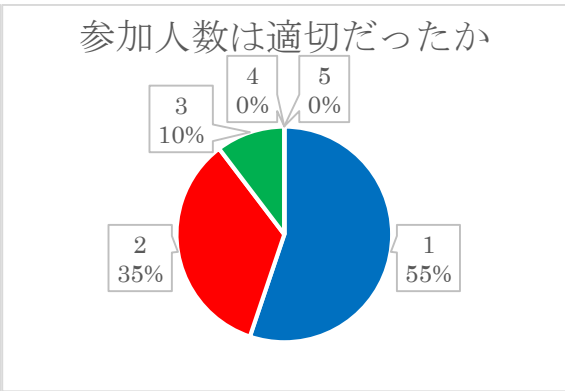
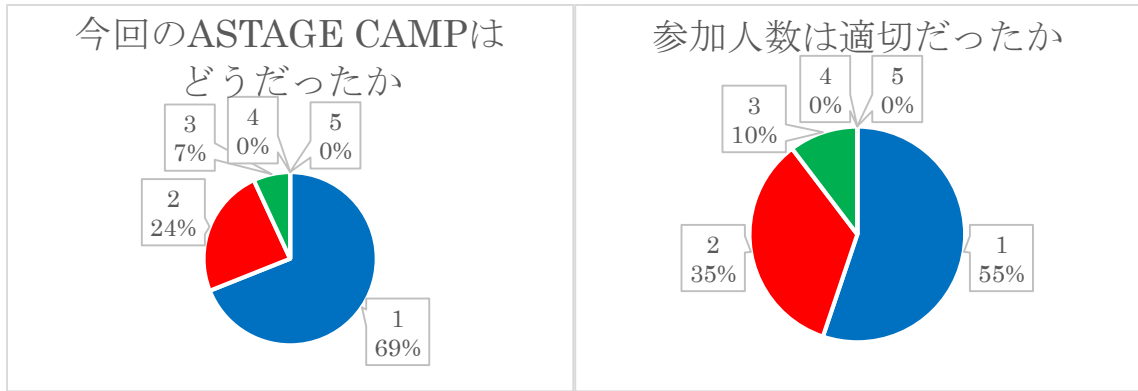
アンケート回答数：28名

## 【ASTAGE CAMP 2016 春について】

1. とても良い    2. 良い    3. 普通    4. 悪い    5. とても悪い

※自由回答欄の回答は原文通りとしています。





最も楽しかったのは何か

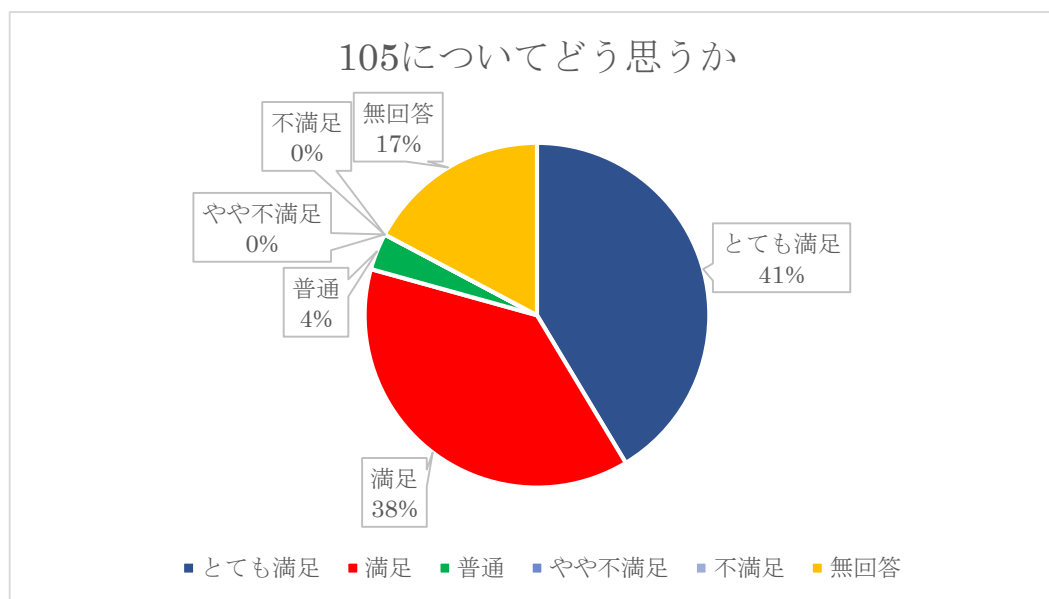
- ・ 1日目レクリエーション (アイスブレイキングゲーム、ゾンビ鬼ごっこ、貿易ゲーム)
- ・ 食事
- ・ キャンプファイア
- ・ 入浴
- ・ 懇親会
- ・ 宿泊部屋でルームメイトと話したこと
- ・ 2日目レクリエーション
- ・ 色々な国の方と話せたこと
- ・ ASTAGE CAMP

## コメント

- Nice Job Guys! ☺
- (In the get-together party,) we had enough time for talking and getting to know people.
- I think it would have been better if we had camps outside. Had a lot of fun. Thanks.
- Great job everyone! The location and activities were really great! I especially enjoyed the campfire! とても楽しかったです☺
- とても楽しかったです。スタッフの熱心な働きに感動しました。今後ともよろしくお願ひします。
- 以後、絶対にもう1回参加します！
- とっても楽しかった！ありがとう！いろいろな友達を知り合って、ゲームも勝ったよかった！またアステージに参加したいですね！
- とってもたのしかった！ありがとうございました。
- staffに本にありがとうございます
- アステージにさんかして たくさん の 友達もできて うれしい。たべものも本当においしかった。ありがとうございます
- 色々な国の人と仲良くなれて良かったです。とても楽しかった！
- 振りかえってみたけど、全部よかった。シャンプー、ボディーソープなかったのは あせった。
- とても楽しかったですよ。105の皆さんに心から感謝しています<3 中学校以来のキャンプで、思ったより楽しかったです。キャンプリーダーさんと105の皆さん、ありがとうございます！
- 105のみんなが頑張ってじゅんぴしたのがよくわかりました。とてもおつかれさまです!!
- 色々な人と話せて楽しむことができて、本当によかったです。
- 全体を通して本当に楽しかったです。



## 【105について】



- Because the objective was accomplished and met new people. (「とても満足」回答)
- チューターがいい。よくたすける。やくにたつ

## 105をどのようにして知ったか

- YNU 研究生
- JOY Program
- Sejong Program
- In the ISC
- Friends
- Tutor!
- 今学期が始まったとき、紹介にきました
- チラシ
- 友達
- 授業が始めてから、誰か教えてくれました。誰だったか覚えていませんが。
- 知り合いが 105 に入っていた
- WWWings を通じて
- 研究生の先輩から聞いた。
- 留学生センターに入ったらすぐいるから
- Welcome パーティ、あと学部の友達

### 105 についてどのくらい知っているか

- A lot, enough
- Not so much, but they speak English ☺
- Not much, except for the activities in the International Student Center.
- International student group who help students and organizes activities.  
Friendly people.
- They help international students and make events for them.
- They lend books, they help you at first floor, they are cute and nice with everybody.
- あまりわからない、知らない
- 少し
- 普通
- そこそこ、まあまあ
- ちょっとだけ知らない
- よく知っている
- 2ヶ月
- 10%, 30%
- だいたい活動内容
- アステージ、ウェルカムパーティー

### 105 に望むこと

- Keep up the good work ☺
- More activities like this (ASTAGE CAMP)
- A trip to a nice place where we can just relax. No activities. Just relax.
- 現在の企画を存続させて
- 理工学部にも広報して
- もう完璧

### 105 に企画して欲しいイベント

- Fashion shows, Cultural shows, Talent shows, Water games, Concert
- International movie night
- 旅行、Winter Camp、Camping in the woods
- バーベキュー
- スポーツ、山登り
- 紅葉狩り